



(財) JKA補助事業 平成22年度事業概要

(2)超電導技術の普及啓発・情報提供活動

ア. 超電導応用技術の普及啓発活動(国際超電導シンポジウム・超電導技術動向報告会)

平成22年11月1日(月)～3日(水)の3日間、つくば国際会議場にて国際超電導シンポジウム(ISS2010)を開催した。ISSは国内外の超電導に関する研究や技術開発の成果発表と国際交流を通して、超電導産業技術の開発と実用化の促進、一般社会への普及・啓蒙を図ることを目的に毎年開催しており、今年で第23回目を迎えた。今回は、海外参加192名を含め総参加者681名、参加国23ヶ国となり非常に盛会となった。発表は招待講演者76名を含め、口頭講演120件、ポスター講演374件の合計494件となった。講演の論文は論文誌エルゼビア・フィジカC特別号として出版される予定。また、9企業・団体による超電導関連材料と製品、技術の展示会も同時開催された。

また、5月24日(月)東京・都市センターホテルで超電導技術動向報告会2010を開催した。産・学・官、報道、一般の方々を含め約200名の参加者があり、産業化を目指す超電導技術開発の成果と課題、動向が報告され、熱心な討議が行われた。超電導技術がもたらす地球環境への貢献に関する基調講演2件を含めて、イットリウム系超電導電力機器開発の進捗、超電導デバイス、線材開発の現状等、11件の発表がなされた。

これらの開催状況については、電子情報誌「超電導Web21」の特集号として掲載し、広く情報提供を行った。



国際超電導シンポジウム (ISS2010) 開会式 超電導技術動向報告会 塩原所長講演

* 超電導技術動向報告会については超電導Web21バックナンバー2010年6月号に、ISS2010については2010年12月号に詳細が記載されているためご参照下さい。

<http://www.istec.or.jp/web21/web21.html>